

道徳 評価の視点【6年】

教材名	六年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ
ねらい	教材に示された文章をもとに、友達と考えを交流する活動をとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもたせる。
評価の視点	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができるか。 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。

教材名	人生を変えるのは自分——秦 由加子選手の挑戦—— 「夢の実現に向けて」
ねらい	つらいトレーニングに耐えながら、東京パラリンピックを目標とする秦由加子選手の生き方について話し合うこととおして、高い目標を立て、困難があってもくじけずに努力しようとする心情を育てる。
評価の視点	自らの夢に向かって前向きに生きることのすばらしさについて、多面的・多角的に考えているか。 自己の夢や希望の実現に向けて目標を設定し、その達成を目指すことの大切さについて、自分事として考えを深めているか。

教材名	志を立てる——松下幸之助—— 「目標をもつ」
ねらい	松下幸之助の努力を続ける生き方とそれを支えた思いについて話し合うこととおして、高い目標を立て、困難があってもくじけずに努力することの大切さに気づき、失敗や困難を自らの夢や希望につなげようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	失敗や困難を自らの夢や希望につなげる人間の強さについて、多面的・多角的に考えているか。 自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指すことについて、自分のこととして考えているか。

教材名	父の言葉 「思いやる心」
ねらい	父の言葉を思い出して、今「私」が気がついたことについて話し合うこととおして、本当の親切とは何かを考え、誰に対しても思いやりの心をもとうとする心情を育てる。

評価の視点	他者の考え方にふれ、他人に対する親切で思いやりのある接し方について、多面的・多角的に考えることができているか。 他人に対し親切で思いやりをもって接することの大切さを理解し、自分の生き方の中でどのように表すかを考えることができているか。
-------	---

教材名	絵地図の思い出 「異性とも助け合って」	
ねらい	恵さんと正彦さんの言動について話し合うことをとおして、男女の間であっても、友達と互いに信頼し学び合って友情を深め、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考えにふれながら、異性であっても互いに信頼し学び合うことによって友情・信頼を深めることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 男女の間であっても、友達と互いに信頼し学び合って友情を深め、よりよい人間関係を築こうとする大切さについて自分事として考えているか。	

教材名	友達だからこそ 「友情を深める」	
ねらい	友美さんと今日子さんの考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの意義について、多面的・多角的に考えることができているか。 仲のよい友達でも、まちがいはしっかり正しながら友情を深めることが大切なことについて、自分の体験と重ね合わせながら考えることができているか。	

教材名	手品師 「誠実に生きる」	
ねらい	手品師が男の子との約束を果たそうとした思いについて話し合うことをとおして、自分の良心に従って生きることの大切さに気づき、誠実に明るい心で生きようとする心情を育てる。	
評価の視点	他者の考えにふれて、どんなときでも自分の良心に従い、誠実に生きることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 どんなときでも誠実に生きていくことの大切さを理解し、明るく前向きな気持ちで生活していくことについて、自分の生き方の中で考えることができているか。	

教材名	青い海を取りもどせ 「すすんで社会の役に立つ」	
ねらい	大船渡の海のがれき撤去作業を行う佐藤さんの思いについて話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、すすんで公共のために役立とうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	働くことの意義について、多面的・多角的に考え、すすんで公共のために役立とうとする態度を養うことができているか。 他者の考え方にふれ、勤労、公共の精神の意義について考えることをとおして責任ある行動の大切さを理解し、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	食事中のメール 「自制心をもって」
ねらい	あゆみさんの気持ちの変化について話し合うことをとおして、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけた生活を送ろうとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、節度をもって行動することが、周りの人をも気持ちよくさせることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 節度をもって行動することの大切さを理解し、自分事としてすすんで自分の生活を見直すとともに、改善すべき点を考えることができるか。

教材名	安全について考えよう 「安全に暮らすために」
ねらい	地震が発生した場合の避難方法について体験的に学ぶことをとおして、安全に気をつけて生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	心持ちや行動・行為について理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 身近な人たちの安全にも配慮しながら、「自分の命は自分で守る」ことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	山中伸弥先生の快挙 「長所を伸ばす」
ねらい	物事に取り組む山中伸弥先生の姿勢について話し合うことをとおして、長所とそれを伸ばしていく大切さに気づき、自分の特徴を知って長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、山中先生のように自分の長所を伸ばしていくことについて、多面的・多角的に捉えることができるか。 自分の長所を知り、それを伸ばしていくとともに、自分の短所も知り、それを改めることの大切さを理解し、自分の生き方の中でそれを実践できているか。

教材名	応援団の旗 「みんなのために」
ねらい	「ぼく」の気持ちや行動の変化について話し合うことをとおして、学校で果たす役割の大切さに気づき、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、自分にできることは何かを理解し、その役割をしっかりと果たすために必要なことについて、多面的・多角的に考えているか。 自分の役割を自覚し、集団生活の充実のために責任を果たすことの大切さを理解し、自分事として考えることができるか。

教材名	ブランコ乗りとピエロ 「寛容な心」
ねらい	ピエロの気持ちの変化について話し合うことをとおして、異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。

評価の視点	他者の考え方にふれ、互いの立場や考えを尊重することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 相手と相互に理解し合い、寛容に接することの大切さに気づき、自分との関わりで考えることができているか。
-------	--

教材名	祖国にオリンピックを 「国を愛する心」
ねらい	オリンピック選手への支援や東京オリンピック招致に奔走する和田勇の思いについて話し合うことをとおして、先人の努力を知り、わが国や郷土の伝統と文化を尊重し、国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	わが国の発展に尽くした人物の生き方から、国を思う心のすばらしさについて、多面的・多角的に考えているか。 自分もわが国の一員であることを自覚し、発展させていこうとすることの大切さについて、自分事として考えを深めているか。

教材名	米百俵 「郷土を愛する心」
ねらい	地域の未来を考えてあえて苦しい道を進もうとした虎三郎の思いについて話し合うことをとおして、先人の努力を知り、わが国や郷土の伝統と文化を尊重し、国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	郷土の発展に尽くした人物の生き方から、郷土を思う心のすばらしさについて、多面的・多角的に考えているか。 自分も郷土の一員であることを自覚し、発展させていこうとすることの大切さについて、自分事として考えを深めているか。

教材名	日本を守るために——江戸城無血開城—— 「みんなの幸せのために」
ねらい	勝海舟と西郷隆盛に共通していた思いについて話し合うことをとおして、日本を守るために行動した二人の生き方に気づき、よりよく生きようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	他者の考えにふれ、人間として生きることの喜びについて、多面的・多角的に考えることができているか。 よりよく生きていこうとする人間の強さや気高さを理解し、自分の人生との関わりで考えることができているか。

教材名	六千人の命のビザ——杉原千畝—— 「気高い心」
ねらい	杉原千畝がユダヤ人たちにビザを出す決断をした時の思いについて話し合うことをとおして、人間の強さや気高さに気づき、よりよく生きようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、多面的・多角的に考えることができているか。 よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、自分の人生との関わりで考えることができているか。

教材名	ひきょうだよ 「いじめをなくすには」
ねらい	たかひろさんの言葉に対して「ぼく」が感じたことについて話し合うことをとおして、いじめを傍観することのひきょうさに気づき、差別したり偏見をもったりせずに人間関係を築こうとする判断力を育てる。
評価の視点	友達と議論することをとおして、いじめを傍観することなく誰に対しても公正・公平な態度で接して正義の実現に努めることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 公正・公平にして、正義の実現に努めることについて、その大切さを理解し、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	その思いを受けついで 「つながり合う命」
ねらい	じいちゃんがのし袋の手紙を用意した理由について話し合うことをとおして、さまざまな人々とのつながりの中で命が支えられていることへの考えを深め、限りある命を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、さまざまな人々とつながり合っている命を大切にすることの意義について、多面的・多角的に考えることができているか。 生命はかけがえのない尊いものであり、自分の生命も家族や仲間とのつながりの中で支えられていることを自覚し、大切にしようとしているか。

教材名	生かされている 「大切な命」「命を大切に」
ねらい	「生かされている 私」とはどういう意味なのかについて話し合うことをとおして、自然や人がつながっていることへの考えを深め、さまざまな人々とのつながりの中で支えられている命を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、かけがえのない命を大切にすることの意義について、多面的・多角的に考えることができているか。 生命は神秘的で尊いものであり、自分の生命もさまざまな人々とのつながりの中で支えられていることを自覚し、大切にしようとしているか。

教材名	百一才の富士 「感動する心」
ねらい	奥村土牛の生き方について話し合うことをとおして、美しいものや気高いものに感動する心を持ち、それらを尊重し、大切にしようとする態度を養う。
評価の視点	美しいものや崇高なもののふれ合い方について、他の人の考え方にふれながら多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりすることができているか。 人間は美しいもの、崇高なものを大切にし、それに感動する心があり、それによって豊かに生活していることを、自分の体験と重ねながら理解しているか。

教材名	礼儀作法と茶道 「相手への真心」
ねらい	茶道が礼儀作法を大切にしている理由について話し合うことをとおして、礼儀作法にこめられた相手を大切に思う気持ちに気づき、真心をもって人と接しようとする実践意欲を育てる。

評価の視点	礼儀作法の形を重んじる理由について話し合うことで、相手の立場を尊重するという礼儀作法の意義について、多面的・多角的に考えることができるか。 日常生活での礼儀作法について考えることで、時と場に応じた他人との接し方の大切さを理解し、自分との関わりで考えることができるか。
-------	---

教材名	フラスコで育てた花 「環境を守る」
ねらい	自分が愛さんだったら、自然環境保護のために何ができるかについて話し合うことをとおして、身近な自然を守っていくことの大切さに気づき、自然環境を保護し、保全しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、自然の偉大さを知り、自然環境を守ることの大切さを理解し、自然環境保全に向けて自分たちにできることについて、多面的・多角的に考えているか。 人間と、自然や動植物との共存のあり方について積極的に考え、自然環境保全に取り組むことの大切さを理解し、自分も自然愛護に関わろうとしているか。

教材名	志を得ざれば、再びこの地を踏まず——野口英世と母シカの物語—— 「家族への愛」
ねらい	野口英世と母シカの互いを思う心について話し合うことをとおして、家族の中での自分の立場や役割を自覚し、感謝の思いをこめて、家族や家庭生活を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	家族を思う心と家族の幸せを求めるあり方について、多面的・多角的に考えているか。 家族の幸せを求めて、自分なりにすすんで役立つことの大切さについて、考えを深めているか。

教材名	うばわれた自由 「本当の自由」
ねらい	ジェラル王子に必要だった考え方について話し合うことをとおして、自由と自分勝手の違いについての考えを深め、自律的で責任のある行動をすすんでしようとする判断力を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、自由と自分勝手の違いについて、多面的・多角的に理解することができるか。 自由には自律性や責任が伴っていることを理解し、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	卒業に向けて 「自分で判断し、行動する」
ねらい	どんな中学生になりたいかについて話し合うことをとおして、その実現のためにやるべきことに気づき、責任をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	自由に伴う責任について、自分の意志で判断し行動しなければならない場面や、その後の影響なども理解しながら、多面的・多角的に考えることができるか。 中学校生活を考え、自由な意思を大切にしながら、自律的に判断し、責任のある行動をすることの大切さについて、自分事として理解しているか。

教材名	情報について考えよう 「きまりを守る」
ねらい	法やきまりの意義について話し合うことをとおして、すすんでそれらを守り、自他の権利を大切にしながら情報と関わろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	法や規則の意義について理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 自らの行動・行為を振り返り、きまりの意義やきまりを守ることの大切さについて理解し、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ひたすらに、自分の心に従って——棟方志功—— 「感謝の心」
ねらい	周りの人への感謝の思いを胸に、自分の道をひたすらに進んだ棟方志功の生き方を支えた思いについて話し合うことをとおして、日々の生活が、家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝するとともに、その思いに応えようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	自分を支えてくれる人への感謝の思いについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分を支えてくれる人への感謝を表すために、自分なりの具体的な目標をもち、実際の生活に生かそうとしているか。

教材名	究極の理想「平和」を求めて——新渡戸稲造—— 「国際理解と平和」
ねらい	国際平和のために努力した新渡戸稲造の生き方について話し合うことをとおして、国を思う心をもって世界で活躍する姿に共感するとともに、日本の文化や伝統に誇りをもって伝えようとする心情を育てる。
評価の視点	他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努める大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 国際理解や国際親善のために、自分にできる活動を具体的に設定し、自分の生き方に生かそうとしているか。

教材名	ベトナムの人に、安全な水を 「世界の国々のために」
ねらい	ベトナムの水道から安全な水が出るようにするための横浜市水道局の取り組みについて話し合うことをとおして、国際交流では何が本当に相手の国のためになるか考えることが大切であることを理解し、すすんで国際親善に努めようとする態度を育てる。
評価の視点	わが国と世界の他の国々とのつながりや、これから自分がどのような意識で外国の人々と関わっていくかということについて、教材文や友達の考え方にふれることをとおして、多面的・多角的に考えているか。 わが国と世界の他の国々とのつながりについての理解をもとに、今までの自分の体験やこれからの自分のあり方と重ね合わせながら考えを深めているか。

教材名	天から送られた手紙 「探究心をもって」
-----	---------------------

ねらい	中谷宇吉郎が研究をなしとげることができた理由について話し合うことをとおして、物事を探究するために大切な考え方に気づき、真理を探究しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、真理を探究することについて、多面的・多角的に捉えることができるか。 真理を探究する心をもち続けることの意義を理解し、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	東の羽生、西の村山——天才棋士 村山 聖—— 「負けない心」	
ねらい	「それが人間の宿命であり、幸せだ。」とはどういう意味かについて話し合うことをとおして、自分の生き方や進路に関する考えを深め、困難があってもくじけずに物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、自分の生き方を自ら選び、努力することの難しさと意義について、多面的・多角的に考えることができるか。 自分自身の生き方を選ぶことの難しさに向き合い、それを乗り越えるために大切なことは何かについて、自分事として考えることができるか。	

教材名	世の中のためになることをしたい——石橋正二郎の挑戦—— 「向上心をもって」	
ねらい	世のためと思い、失敗を重ねながらもタイヤ作りに挑み続けた石橋正二郎の生き方を支えた思いについて話し合うことをとおして、困難に直面しながらも高い目標を立て、くじけずに努力しようとする心情を育てる。	
評価の視点	自らの夢に向かって前向きに生きることのすばらしさについて、多面的・多角的に考えているか。 自己の夢や希望の実現に向けて目標を設定し、その達成を目指すことの大切さについて、自分事として考えを深めているか。	

教材名	「しかみ像」にこめられた思い 「短所を改め長所を伸ばす」	
ねらい	家康が「しかみ像」といわれる絵を描かせ、自分のそばに置いた理由について話し合うことをとおして、短所を自覚して改めることの大切さに気づき、短所を改めて長所を伸ばそうとする実践意欲を育てる。	
評価の視点	短所から目をそらすのではなく、短所を自覚することが成長につながることを、多面的・多角的に考えているか。 短所を改め、長所を伸ばすためにはどうしたらいいかについて自分なりに問題意識をもち、よりよい成長をしていきたいという意欲を高めているか。	

教材名	西陣織を受けつぐ——苦境を乗り越えて—— 「伝統を生かして」	
ねらい	伝統を受け継ぐとはどういうことなのかについて話し合うことをとおして、先人の思いを尊重しながらも発展させていく大切さに気づき、わが国や郷土の伝統を大切にしようとする心情を育てる。	

評価の視点	他者の考え方にふれ，わが国や郷土の伝統と文化を大切にし，それを愛する心について，多面的・多角的に考えることができているか。 わが国の郷土や文化を大切にして，先人の努力を引き継ぐことの意義を理解し，自分との関わりで考えることができているか。
-------	---

教材名	北海道の名づけ親——松浦武四郎—— 「支え合い，ともによりよく生きる」
ねらい	松浦武四郎が「北海道」の名前にこめた思いについて話し合うことをとおして，郷土の文化を尊重することの大切さに気づき，わが国や郷土の伝統を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ，わが国や郷土の文化を大切にし，それを愛する心について，多面的・多角的に考えることができているか。 わが国の郷土や文化を大切にして，先人の努力を引き継ぐことの意義を理解し，自分との関わりで考えることができているか。